

2019年6月24日

BCJ 評定取得で使い勝手向上 プレセッターSU が LVL 仕様に対応

BXカネシン株式会社（代表取締役：二村一久）は、金物工法「プレセッターSU」をLVLに接合した場合の接合部強度を明確にするため、一般財団法人日本建築センターのBCJ評定を取得しました。従来は、LVLでの明確な接合部の数値データがなく設計者判断での運用となっていました。多目的木造建築（MP）の拡大により曲げ強度の高いLVLが注目されていることから、物林株式会社と協業でBCJ評定を取得。構造躯体のすべてをLVLにできるだけでなく、部分使いも可能になるなど、プレセッターSUの使い勝手がさらに向上しました。物林株式会社はこれまで工務店やビルダーへ国産LVLの提案を行ってきたが、今後は構造計算等とのパッケージ化を進めていく意向であり、今回のプレセッターSUの評定取得で両社ともに提案の幅が拡がり、受注拡大に向けて取り組みの強化を進めていきます。



《BCJ 評定の仕様》

1. 接合部

- ・柱と梁、梁と梁の接合部
- ・柱頭柱脚の接合部

2. LVL の樹種

- ・スギ、ヒノキ、カラマツ

3. LVL の規格・等級

- | | | | |
|----------------|-----|----|---------------------|
| ・柱、土台 | JAS | 特級 | 90E-335F/45V-38H 以上 |
| ・梁（梁せい510 まで） | JAS | 特級 | 100E-375F/45V-38H |
| ・梁（梁せい540～600） | JAS | 特級 | 100E-375F/55V-47H |

●製品に関するお問合せ

BXカネシン株式会社 営業統括部 Tel. 0120-106781

●本ニュースリリースに関するお問合せ

BXカネシン株式会社 広報室 井上 Tel. 03-3696-6781